



すいた

市議会だより

No. 274

新年号

編集 / 議会広報委員会

発行 / 吹田市議会

吹田市泉町1丁目3番40号

直通電話 06(6384)2696

FAX 06(6338)0920

平成24年(2012年)度決算を認定

平成24年(2012年)度の各会計の決算は、一般会計が単年度収支では5788万円の黒字、9特別会計の総計は、7億4万円の黒字です。企業会計は水道が2億6427万円、病院が2億4175万円の黒字です。

市議会では、閉会中にこれらの決算を決算審査特別委員会と企業決算審査特別委員会それぞれ審査し、12月定例会の初日に認定しました(一般会計決算と国民健康保険特別会計決算は賛成多数で認定、その他の特別会計決算、企業会計決算は全会一致で認定)。また、水道事業利益の処分は全会一致で可決しました。

審査の一部をお伝えします。なお、詳細は、委員会記録(市役所の情報公開課や図書館に備えています)をご覧ください。また、市議会のホームページでは、委員会記録の検索・閲覧ができます。

決算の審査から

玉井美樹子委員長

公明党

◆矢野伸一郎副委員長

青色防犯パトロールを見直せ

問 本市の青色防犯パトロール事業は、平成17年6月に運用を開始し、現在、非常勤職員4名が2班編成で巡回している。地域の自治会での巡回に加え、企業協議会等が市内全域を対象に巡回を始めた。行政が専任職員を配置してまで、継続する理由はなく、公用車に青色回転灯を装着して、公務で市内巡回することで、目的が果たせる。同事業そのものは否定しないが、年間1100万円も



市内巡回する青色防犯パトロールカー

の人件費を投じる事業手法は見直すべきではないか。
答 危機 同事業は、一定の見直し時期にあると考えている。
今後、事業の運用の在り方等も含め全体的に見直していきたい。

議長 豊田 稔
副議長 竹村 博之
議員 中本 美智子
梶川 文代
生野 秀昭
榎内 智
足立 将一
池淵 知子
西川 厳穂
矢野 伸一郎
澤田 雅之
川本 均
竹内 忍一
山口 克也
後藤 恭平
柿花 道明
橋本 浩
井上 真佐美
野田 泰弘
吉瀬 武司
木村 裕
和田 学
山本 力
村口 始
藤木 栄亮
奥谷 正美
小北 一美
坂口 妙子
島 晃
倉沢 恵
塩見 みゆき
柿原 真生
玉井 美樹子
上垣 優子
山根 建人

(住所)

(電話)

(議席順)

議員の年賀状は、答礼によるものを除き公職選挙法で禁止されていますので、本紙上をもって新年のあいさつとさせていただきます。

◆井上眞佐美委員 雨水レベルアップ整備事業

問 昨今の集中豪雨で浸水被害に遭った地域があるにもかかわらず、なぜ平成24年度の雨水レベルアップ整備事業の執行額がゼロなのか。

答 下水道 平成23年度までは豊津工区の整備を進めており、24年度は他工区の整備の検討を行っていた。また、下水道事業全体の事業費の平準化を図った結果ではあるが、雨水レベルアップはより具体的に進めていく必要があると考えている。

問 整備された雨水レベルアップ管は、浸水被害の軽減に一定の効果を発揮しているが、昨今のゲリラ豪雨の雨量は既存施設の能力を超えている。雨水レベルアップ整備事業を早急に推進すべきではないか。

答市長 他の地区も含め、同事業については積極的に取り組みたい。

民主市民連合

◆川本 均委員

江坂公園自動車駐車場の今後

問 江坂公園自動車駐車場は、近辺に民間駐車場が多くでき、近年の利用台数の低下に伴う料金収入の減収により、平成22年度から赤字収支に転じている。公共駐車場としての役割は、一定果たしたのではないかと

考えられる。今後、自動車駐車場事業を継続するかどうか、早急に判断すべきではないか。

答道路公園 公共駐車場の必要性は専門家も交えて、部内でかなり深く検討したが、結論にはまだ至っていない。今後、事業の収益性だけでなく、周辺駐車場の動向や江坂地域のまちづくり、また、市の財政面も勘案したうえで、近いうちに責任ある判断をしたいと考える。

自由民主党絆の会

◆柿花 道明委員

子宮頸がん検診の受診率向上について

問 国内の子宮頸がん検診の受診率は約20%と非常に低い。それに比べてアメリカやイギリスは70%を超えており、本市として子宮頸がん検診の受診率を高めるための施策を検討すべきではないか。



受診勧奨用のパンフレットなど

ており、本市として子宮頸がん検診の受診率を高めるための施策を検討すべきではないか。

答福祉保健 国のがん検診受診率の目標は50%、平成24年度の本市の子宮頸がん検診受診率は約22%である。

特定年齢の方への無料クーポン配布や個別勧奨はがき、案内チラシなどの送付で啓発しているが、もっと受診率を高めるために、対象年齢の拡充などを今後検討していきたい。

◆橋本 浩委員

(仮称)吹田市地域委員会 研究会での検討経過は

問 (仮称)吹田市地域委員会の代表は、公選により決めると当初なっていたが、現在の方向性について聞きたい。枚方市や池田市のように、まちづくり協議会に近いような形で検討しているのか。

また、権限移譲の範囲、方法等について、議論されているのか。

答まち産業 計10回開催された(仮称)吹田市地域委員会研究会からは、代表等を選挙で選ぶ方法は、本市にふさわしくなく、組織は連合自治会等を主体とし、地域の諸団体との連携を図っていくのが望ましいとの意見を頂いている。

また、権限移譲等の範囲については、具体的な検討はされていない。地域委員会モデル実施骨子案を市で

吹田新選会

◆山口 克也委員

市民病院の吹操跡地への移転

今年度中に作成し、平成26年度に地域に説明できるように検討したい。

問 国立循環器病研究センターと市民病院の連携については、職員教育や医療機器の整合性等において不安である。二つの病院を渡り廊下でつなぐような簡単なことではない。

答都市整備 開院までの5年間の中でしっかりと国循と協議し、医療連携の形を構築していきたい。

問 福祉巡回バスのような、市民病院にとつて非常に重要な公共の足を止めておいて、交通機関が整っているからと市民病院を岸部に移転させるというのは論理矛盾ではないか。

答同 国循には、通院バスを市内各地域と結ぶよう要請している。また市民病院でも通院バスを導入できれば、交通の便はよくなると考える。

みんなの党吹田

◆榎内 智委員

組合への対応は毅然とせよ

問 市は、職員会館の一部の目的外使用を職員労働組合に許可しているが、施設の清掃などの負担を求めるべき維持管理費は請求しているか。

答総務 平成25年度からは、維持管理費の負担を条件として、目的外使用を許可している。約300万円であるが、まだ支払われていない。

問 平成24年度は税金で支払われている。市民にどう説明するのか。

答副市長 組合と話をしていきたい。

問 組合に無償で使用許可をしている職員会館横の駐車場に街頭宣伝車のような車が置かれているが、政治目的ではないのか。

答総務 使用目的は確認していない。職員団体の車として許可している。

日本共産党

◆上垣 優子委員 市長の責任を問う

問 事業見直しにより総額約7億円の予算が削減され、市民負担は大きく増えた。市は、廃止した福祉巡回バスに関するアンケートを行ったが、その報告書は代替策を検討する内容になっていない。これでは、市の責任は果たしていない。市長の考えは。

答市長 福祉巡回バスの廃止により外出できなくなったなどの報告はない。民間事業者のバスの拡充をお願いするなど、市として努力している。

岸部中住宅の募集地域を全市に

問 岸部中住宅の地域限定募集を全市対象に広げるべきではないか。

答都市整備 現居住者の理解も得ながら、範囲拡大に向け努力したい。

企業決算の審査から 山本 力委員長

公明党

◆小北 一美委員 技術系職員の新規採用を

問 人材育成と技術の継承というのは、水道事業を支えるうえでは非常に大事なことである。その観点から見ても、3年間も若い優秀な人材を採用しないというのは考えられない。市の方針で3年間は新規採用をしないとのことであるが、来年度は水道部として、技術系職員の新規採用をぜひ行つべきではないか。

答水道 技術系職員が少ないこと、またその年齢構成に偏りがあることについては、本庁の人事担当責任者に伝えており、一定の理解はされている。

今後の技術系職員の確保については、指摘の点も踏まえ、本庁の人事担当部局に掛け合つていきたい。

◆坂口 妙子委員 安心な医療を提供するため 働きがいのある職場環境整備を

問 看護師、事務職員等の年次休暇の取得のしやすさや、看護師不足の

解消等、職員が働きやすい環境になるよう、どう取り組んでいるのか。吹田市市民病院で働きたいと言われるような経営の在り方、雰囲気づくりは大切ではないか。

また、病院に対する苦情については、どのように対応しているのか。

答病院 休暇等取得しやすい環境づくりに配慮するとともに、認定看護師等の資格取得をバックアップするなど、働きがいのある職場となるよう、環境整備を進めたい。

病院への苦情等については、毎年度、全職員を対象に患者への説明等の研修を実施している。外来の待ち時間の縮減策を今後も検討したい。

民主市民連合

◆和田 学委員 想定外の災害に対応できる 給水体制の構築を

問 さきの東日本大震災では、本市も多くの職員が被災地に出向き、臨時給水作業等の支援を行った。その大きな教訓をいかし、想定外の災害に対応できる給水体制を構築すべきではないか。

答水道 平素から防災訓練、防災に関する研修等を行い、高い意識と責任感を持った職員による体制を構築している。危機管理面については、近年、事業継続マネジメントにも取

り組んでおり、今後、シミュレーション訓練も早急に実施したい。平素から災害が起きた状況を想定し、災害に関する警報や注意報も意識しながら業務を進めたい。



被災地での給水活動の様子

自由民主党絆の会

◆藤木 栄亮委員 吹田市市民病院看護師寮について

問 現在、吹田市市民病院には男性看護師が約20名いるが、同病院敷地内に存在する看護師寮は女子寮となっており、男性は利用できない。吹田操車場跡地に移転予定の新市民病院の建設時には、看護師寮の整備予定はあるのか。

答病院 看護師寮を整備する予定はない。男女ともに、民間住宅を借り上げて対応したい。

問 民間から借り上げたマンション等を看護師寮にすることに異論はな

吹田新選会

◆後藤 恭平委員

災害時の給水体制について

問 水道管の更新は、災害時を考えると給水拠点から避難場所までの経路について急ぐべきではないのか。

答水道 次の事業計画では、小学校に向かう管路の耐震化というように、大きな位置づけを検討していきたい。

問 現在、災害時に管路が断絶された場合、市内すべての避難所に水を供給できるよう十分な体制を構築しているのか。

答同 いざというときは、各自治体に応援を要請し、給水車の確保等を行い、給水に当たりたい。市では、現在給水タンク車や車載タンクを13台分保有しているが、道路の遮断等を想定した体制の構築が必要と考えている。

すいた市民自治

◆西川 敏穂委員

アセットマネジメントの導入を

問 管路などの老朽化でアセットマ

ネジメントの必要性が問われているが、本市はどう取り組んでいるのか。

引当金を計上しない理由は

問 貸借対照表に退職金や修繕費などの引当金を計上していないのはなぜか。また、他市の公立病院の固定負債比率が高いのは、引当金を計上しているからではないか。

答病院 恒常的にある累積欠損金をさらに膨らませないため計上していない。他市の引当金計上の状況は、把握していない。

すいた市民クラブ

◆梶川 文代委員

水道施設の再構築について

問 本市の浄水施設は老朽化が進み、管路の経年化率は全国ワースト上位となっている。修繕や改修ではなく、再構築するほうが効率的ではないか。

答水道 将来的な構想を明確にする中で、バックキャストして今の計画を見直す必要があると考えている。

病院事業会計の実態について

問 平成24年度決算報告では黒字であるというが、一般会計からの繰入金、いわば市民負担が毎年十数億円

日本共産党

◆倉沢 恵委員

病院の経営形態の変更で市立病院の役割を後退させるな

あるということを認識しているのか。

答病院 単年度黒字額は約2億4000万円であるが、一般会計からの繰入金約12億4000万円を差し引くと、約10億円の赤字になる。

問 来年度から病院の経営形態が直営から独立行政法人に変わるが、市民の願いは安心して医療を受けられることであり、小児夜間救急の復活、障害者歯科診療の継続などが求



地方独立行政法人化後も公的役割の継続が求められる市民病院

められている。今後、公立病院としての将来性をどう考えているのか。

答病院 市民から信頼されていることはありがたいと思うっており、その期待に応えたい。

問 看護師の生理休暇、介護休暇の取得がなく、平均在職年数は12年と短い。労働条件の抜本的改善策は。

答同 生活サイクルに合った雇用形態を含め、研究する必要がある。

◆山根 建人副委員長

水道の福祉減免実施を求める

問 水道事業について、2012年度は2億6000万円の黒字であった。市民への還元や滞納者を減らす対策として、他市でも行われている福祉減免制度を実施してはどうか。

答水道 ここ数年、黒字は計上しているが給水収益は減少している。本市の水道料金は他市に比べて非常に安く、料金そのものが福祉型になっていると自負している。

水道事業の専門職の技術継承を

問 市長による職員採用凍結で、若い職員に対する、化学職などの専門技術の継承に影響が出ているのではないか。新規採用を強く求めよ。

答水道 適正な年齢構成による技術の継承は非常に大事である。特に技術職の確保にはできるだけ努力していく。現場からも強く要望したい。